

取扱説明書



洗面用 シングルレバー混合水栓

品番： PAF-RO071CR (引き棒無)
 PAF-RO081CR (引き棒無)

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有り難うございました。
常に最良の状態でご使用いただくためにご使用前にこの説明書をよく
お読みの上、正しくお使いください。

また本説明書には保証書が付いております。お読みになったあとは大切に保管して下さい。

もくじ

- 安全上のご注意
- 特長
- ご使用方法
- ご使用上の注意
- お手入れの方法
- 修理を依頼される前に
- アフターメンテナンスに関して
- 保証書

● 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

記号の説明

	注意	危険、注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為		該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	指示（重要）		該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。
	接触禁止		該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	分解禁止		該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。

● 必ずお守りください

 注意	危険、注意	ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為	湯水を逆に配管しないで下さい。水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	引渡しまでや長期不在の間に凍結が予想される場合は凍結予防処置を行ってください。 例）水栓内部の水を全て排出する。 水栓から少量の水を出し続ける。 水栓・配管を設置している場所の温度を氷点下以上に保つ。 凍結破損で漏水被害等を引き起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります
	接触禁止	高温の湯をお使いの際は、吐水口やお湯に直接触れないようにしてください。やけど、けがなどのおそれがあります。
	指示（重要）	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。次に使用する際に水栓内に滞留した湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	お湯をお使いになる時は必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくりお湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	他所の水栓との同時使用等により圧力の変動が起こり、湯温が急上昇する恐れがあります。同時使用の際は湯温の変化に注意をしてください。ヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こす恐れがあります。ゆっくり操作してください。漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	分解禁止	修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。破損、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります
	指示（重要）	定期的に、配管周りを点検し、水漏れやがたつきがないか確認してください。製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。

●特徴

- ・レバーハンドルひとつで吐水量と温度を調節でき、節水効果があります。
- ・バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。

● ご使用方法

・吐水量の調節

レバーハンドルを傾けると吐水し、下げる具合で水量を調節します。
レバーハンドルを上げると止水します。



・温度の調節

レバーハンドルを前後することで
湯・水の混合比を調整します。



・吐水向きの調整

吐水部のエアレーター向きを調整して
水の向きを変えることができます。



・ポップアップ排水金具引棒の操作(引き棒付水栓)

手で水栓後部の引棒を引き上げると洗面ボウルの排水金具が閉まります。
引棒を押し下げると洗面ボウルの排水金具が開きます。

●ご使用上の注意

➤ ガス・電気給湯器と組み合わせてご使用の場合

吐水量が少ない時や給湯圧が低いとき、水温が高い時は給湯器が着火しない場合があります。

※給湯機に関する内容は弊社では対応できませんのでご了承ください

➤ レバーハンドル操作

レバーハンドルはゆっくりと動かしてください。

※急激な操作をすると配管内で水撃音が出たり、漏水する可能性があります。

➤ キャビネット内の物を出し入れする際のご注意

キャビネット内の物を出し入れする際、水栓の給水給湯管を引張ったり、無理な力を加えないでください。

➤ 水栓本体に水をかけないでください

水栓本体に水をかけないでください。引き棒穴や接続部から水が入り、キャビネット内を濡らすことがあります。

	指示（重要）	定期的に、配管周りを点検し、水漏れや、がたつきがないか確認してください。製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。
---	--------	--

●お手入れの方法

損傷や、器具の不具合を防ぐため、お手入れにあたっては、次の点にご注意ください。

不適切な取扱いによって発生した損傷は、製品保証の対象にはなりません。

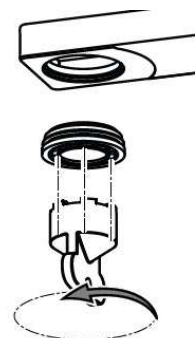
➤ 汚れた場合は

- ※ 酸性洗剤、塩素漂白剤を含有する洗剤はメッキを侵しますので、絶対に使用しないでください。
- ※ 水栓の表面を傷つけるようなものは絶対に使用しないでください。
- ※ クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤・ナイロンたわし、たわし、ブラシなど・研磨剤、スポンジパッド、マイクロファイバー布、化学スポンジなど研磨を目的とした洗剤や用具
- ※ スプレー洗剤を使用する場合、洗剤溶液を直接水栓に噴きつけず、やわらかい布やスポンジなどに噴きつけて使用してください。
- ※ 洗剤を使ってお手入れをした後は、十分に洗い流し、水栓に付着している洗剤を残らず取り除いてください。

➤ 吐水口（エアレーター）のクリーニング

吐水口先端のエアレーターにゴミ等が詰まる場合がありますので、定期的に次の要領で確認・清掃してください。

- ① レバーハンドルを止水状態にしてエアレーターを
右図を参照して付属工具で外してください。
- ② エアレーターにゴミがある場合は水で洗い流してください。



●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合があります。下記項目をご確認ください。

	分解禁止	決められた項目以外は、分解、改造しないでください。破損し、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。
---	------	--

内容	ここをお調べください	処置
吐水量が少ない	1、止水栓は十分に開いていますか 2、エアレーターにゴミが詰まっていますか 3、水圧が不足していませんか	1、止水栓を開き、流量の調整をしてください 2、前述の「お手入れの方法」のページを参照して、清掃をしてください 3、給水圧、給湯圧を製品の作動圧内に調整してください
水しか出ない	1、湯側の止水栓は開いていますか 2、給湯器のスイッチは入っていますか 3、水の圧力が強すぎる	1、止水栓を開き、流量の調整をしてください 2、給湯器の温度設定を確認し、十分な湯量、湯温を確保してください 3、湯・水の流量が同じになるように止水栓を調整してください
水の量が多すぎる 使用時に音がする	水の圧力が強すぎる	水側の止水栓を締め、水の量を少なくする
湯しか出ない	水側の止水栓は開いていますか	止水栓を開き、流量の調整をしてください
完全に止水できない ポポポ水がたれ続ける レバーの付根部、水栓本体のつなぎ目から水がにじみ出る	水栓内部に内蔵されているカートリッジが破損している	販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、カートリッジ交換を行う

上記の処置で故障が直らない場合は、販売店、施工店、弊社へご連絡ください。
上記処置以外の分解、修理、改造は行わないでください。

●アフターメンテナンスに関して

➤ 保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書が付いています。保証期間は施工後 2 年以内です。

➤ 修理を依頼される時

お求めの販売店、施工業者、弊社へご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 1、住所・お名前・お電話番号
- 2、品名、品番（表紙を参照）
- 3、ご購入日
- 4、異常発生箇所（各部の名称を参照）、症状

《保証期間中は》

修理時に保証書をご提示ください。保証書の規定に従い修理させていただきます。

《保証期間が過ぎている場合は》

修理すればご使用できる商品に関しては、ご希望により有償で修理させていただきます。

《料金》

メンテナンス出張料＋メンテナンス技術料＋部品代金で構成されます